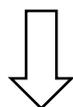


データの読み込みと保存

無線機とパソコン(クローニングソフトCS-2820)が接続されているのが前提です



で読み込み

① 無線機本体から読み込むか 保存していたデータを読み込む

- 無線機からデータを読み込まないで設定した後に、無線機に書き込み をしてしまうと、レピータメモリーデータ以外の設定がすべて消去(初期値に設定)されてしまいます。

※最初に必ず無線機から読み込む方法を推奨します。

- 間違って書き込んでしまった時のために、無線機から読み込みをしたデータは、一時的にパソコンに保存しておくことをおすすめします。
ファイル(F) → 「名前を付けて保存(A)」
- 無線機本体で設定操作をしていない場合は、保存データの読み込みを行って、設定後に無線機に書き込みをしても大丈夫です。
(自局のコールサインやメッセージなどを設定して、無線機に書き込んだものと同じデータを保存しておいたもの)
ファイル(F) → 「開く(O)...」 又は

※メモリーデータのセット方法は、次のページを参考にしてください。



② 無線機へ書き込み

設定やメモリーの編集が完了したら無線機に書き込みます。

クローン(C) → 「書き込み→無線機」 又は で書き込みます。

※無線機に書き込みをしたデータをパソコンに保存しておくことにより、操作ミスなどで設定や動作がおかしくなった時や無線機の誤動作で無線機をリセットした場合などに元に戻せます。
ファイル(F) → 「名前を付けて保存(A)」
又は で、上書き保存

メモリーデータの編集

※CH間にセットする場合は、挿入で1行空けてから設定します。
行コピーはできますが、コピー → 挿入 → 貼り付けの操作になります。

CH	周波数	DUP	オフセット 周波数	TS	モード	メモリーネー	コールサイン(半角英数字)			バンク	
							相手局	RPT1	RPT2	グループ	Ch
0	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	ナス	/CQCQCQ	JP1YGQ		A	0
1	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	ハマチョウ43	/JP1YIU	JP1YGQ	JP1YGQ	A	1
2	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	ニホコハン43	/JR1VM	JP1YGQ	JP1YGQ	A	2
3	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	アキハバ43	/JP1YLA	JP1YGQ	JP1YGQ	A	3
4	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	イトカワ43	/JP1YJK	JP1YGQ	JP1YGQ	A	4
5	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	テンギ43	/JP1YDG	JP1YGQ	JP1YGQ	A	5
6	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	スカイ43	/JR1WN	JP1YGQ	JP1YGQ	A	6
7	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	コシカワ43	/JP1YKZ	JP1YGQ	JP1YGQ	A	7
8	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	ニシウキョ43	/JP1YIW	JP1YGQ	JP1YGQ	A	8
9	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	好加43	/JP1YKU	JP1YGQ	JP1YGQ	A	9
10	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	アライ43	/JP1YJO	JP1YGQ	JP1YGQ	A	10
11	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	ハムフェア43	/JP1YJJ	JP1YGQ	JP1YGQ	A	11
12	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	コウナン43	/JR1VQ	JP1YGQ	JP1YGQ	A	12
13	439.490000	-DUP	5.000000	10k	DV	コウナン43	/JP1YIQ	JP1YGQ	JP1YGQ	A	13

この間は、表示を省略しています

①レピータのダウンリンク周波数

②レピータの周波数シフト

③この通りに入力(TSは初期値20kでもOK)

④英数カナの半角8文字以内

⑤CH0は、ゲート越えなしの設定
CH1からは、ゲート越えありの設定

⑥任意設定(バンクチャンネルの編集)
・グループは、バンクチャンネルA~Zを選択
・Chは、バンクチャンネル内の並び順

・URにレピータのコールサインを設定する時は
1桁目は必ず / にする

桁 → 1 2 3 4 5 6 7 8

相手局: / J P 1 Y I U B ← Bは、浜町1200の識別

RPT1: J P 1 Y G Q ← レピータのコールサイン

RPT2: J P 1 Y G Q G ← Gは、ゲート越えの識別

・3文字コールの場合の設定

RPT1: J R 1 W N

RPT2: J R 1 W N G

※他のデータやダウンロードしたデータを利用する場合は
次のページの方法で、メモリーのみコピーすることができます。
WINDOWS(EXCEL)の機能を利用した、コピー&ペーストの方法です。

IC-2820のメモリーデータをデータ間でコピーする方法

- ①コピーしたいデータ (icfファイル) を読み込みます。
- ②コピーしたいCHを指定します。(100CH区切り内で、100CHまで)
この例は **CH0**にカーソルを合わせてクリックしたまま**CH5**まで選択
- ③右クリックで、コピーします。
- ④コピー先のデータ (icfファイル) を読み込みます。
(無線機から読み込んででもOKです)
- ⑤コピーしたいCHをクリックします。
この例は **CH125**を選択して貼り付け
- ⑥右クリックで貼り付けます。
この例は **CH125~CH130**に貼り付けます
- ⑦バンクチャンネルが重複すると×が出ますので、バンクチャンネルを編集します。(前ページの⑥)



これで完了です。他のメモリーを追加する時は、この操作を繰り返します。